

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	10	利用者様・家族の意向の反映がまだまだ不自由分だと感じる。人員不足解消や職員定着をご家族から強く要望あり。まだまだ家族とのコミュニケーション不足をやや感じる。	人員不足においては業界的にも厳しい現状があるがよりよいケアや質を求めていく上で人員確保は絶対になってくるので今いる職員の定着と新しく入ってこられた職員を大事に育成していく。	会社・ホームで教育方法の確立。 人員確保に置いては本社の方でも色々と処遇の面やその他の部分で動いている。	6ヶ月
2	12	人員不足により職員のやりがい向上心が損なわれている気がする。	勤務管理をしっかりと行い職員とも面談をして悩みなどをすぐに解消していく。職員一人一人をもっと見ていき個人がステップアップしていけるよう目的をもっていけるような場面を多く作っていく。	職員間でのコミュニケーションの場を多く持ち何でも話せるような環境を作っていき皆でかंगाえていけるような雰囲気ホームにしていける。	3ヶ月
3	49	以前に比べ外出の機会は多くなってきているがまだまだ入居者様のニーズ、ご家族様のニーズには答えられていない気がする。	入居者様のニーズを再確認し散歩や外出イベントを今よりも多く企画していく。今しかできない事をやっていけるようにする。	以前はユニットごとにレクも考えていたが個別だったり少人数であったり工夫も必要。外出レクだけではなくホーム内でのレクも色々と考え実施していく。散歩に関してはほぼ毎日実施できているのでこのまま実施していく。	3ヶ月
4	35	昨年、大きな台風も県内を直撃した。その際に出勤が出来ないスタッフも多くいてシフトのやりくりがうまくいかない事もあった。備蓄品も用意してあったが何かあった時に本当にこれだけでいいのか？と考え課題を感じた。	災害時、職員はもちろんだが入居者様の家族への連絡や場合によっては協力も必要なのでしっかりと連携協力を呼びかけそれに対する理解を得てもらう。近隣の方とも連携をしていく。	ホームとしては災害時の備蓄品の再確認を行い必要に応じてアイテム等を増やし備蓄し災害に備える。入居者様家族には万一の時は職員だけではどうにもいかない事もあるという事も運営推進会議等でしっかりと伝えていく。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。